

社会の課題解きほぐす

産業数学研 九大創設へ

西日本新聞

発行所
西日本新聞社
福岡市中央区天神一丁目
4番1号 (〒810-8721)
©西日本新聞社 2010年

2月21日
(日曜日)

電話 092 (711) 5555 (代)
報道センター 5222
都市圏総局 5225
文化部 5260
運動部 5230

紙面の問い合わせ

読者室 092 (711) 5331
平日10~18時 土曜~14時
(日・祝日休み)

購読・配達のご案内
0120-44-0120 (7~21時)

ホームページ
<http://nishinippon.co.jp/>

来春、アジア初

中・韓・豪と連合体も

九州大は、数学を駆使して社会的課題の解決や新技術の開発を目指す「産業数学(MI)」の研究を2011年春に創設する方針を固めた。専任教員を中心に約50人を配置するアジア初の取り組み。情報技術(IT)の発展などで社会の隅々で数学の理論や知識が活用されるようになっており、MI研究所はインターネットの情報などの安全確保や金融商品開発、資源探査、災害予測などをテーマに企業や専門家と共同研究を進め、人材も育成する。

九大数理学研究院によ
ると、MI研創設に連動
して九大は今年前半にも
中国や韓国、オーストラ
リアなどの大学、企業と
「アジアの数学と産業の
コンソーシアム(連合)」
を発足させる。既にシン
ガポール国立大や中国・
香港科学技術大と協議を
始めており、6月中にも
10前後の大学や企業に参
加を呼び掛ける。大学と
産業界の研究グループの
国際交流を促進、共同教

育システムの構築も目指
す。
MI研には当初、教授
12人、准教授8人、助教
3人程度の専任教員を配
置。博士号取得者が研鑽
を積む「ポストドクター」
枠や約20人の協力・客員
部門も設ける。

コンピューターが飛躍
的に発達した1990年
代中盤以降、交通機関の
運行管理から機械制御、
映像処理、医療や金融の
分野まで、幾何や統計、

確率論など数学の知識が
不可欠になった。世界同
を促した金融商品が引き

金を引いたが、破綻の背
景には理論への認識不足
もあったとされる。
産業・社会と数学の新
たな関係が国際的に模
索されるなか、同研究院
は2007年春、数学の
産学連携拠点として産業
技術数理研究センターを
開設。08年度には世界最
高水準の教育研究拠点を
目指す文部科学省のグ
ローバルCOEプログラ

ムに「マス・フォア・イ
ンダストリ(MI)産業
のための数学と、そこか
ら生まれる新しい数学」
教育研究拠点が採択さ
れ、今回の構想が生まれ
た。
若山正人院長は「純粋
数学の研究にも力点を置
き、数学を武器に産業界
で活躍する人材を九州か
ら輩出したい」と話して
いる。(坂本信博)